視点

宮城県の震災復興について

宮城県知事 村井 嘉浩



上げます。 援のため、 被災された皆様には、 ておりますことに、 いを申し上げます。さらに、 心から哀悼の意を表します。また、 くの尊い命が失われましたことに、 この度の東日本大震災により数多 被災地の復旧や被災者支 温かい御支援をいただい 心から感謝申し 謹んでお見舞 全国の

害を受けました。 県では、栗原市で震度7を記録した より本県沿岸部の全域が壊滅的な被 この地震により発生した巨大津波に しい揺れに見舞われました。また、 のをはじめ、全域で震度5以上の激 9・0の大地震が発生しました。本 三陸沖を震源としたマグニチュード 平成23年3月11日午後2時46分、

が、 震災発生から半年が経過しました 生活再建の第一歩となる住環境

> でいます。道路、空港、港湾等交通 仮設住宅等への入居が着実に進んで 物の流れが活気を取り戻すなど、 仮置き場に撤去できるよう取り組ん しましたが、1年以内に、現場から の23年分に相当する膨大な量が発生 ては、県内で排出される一般廃棄物 おります。また、災害廃棄物につい の確保については、 インフラの復旧も着実に進み、 避難所から応急 労があったことと思います。

地盤沈下した地域では満潮や高潮に 再建のめどが立たない方、さらに、 る方が行方不明であり、また、生活 るい兆しが見えています。 います。宮城県としましては、 大勢の方々が大変な御苦労をされて よる浸水に悩まされている方など、 一方で、依然として2千人を超え 何よ

御心配を持たれ、また、多くの御苦 とから、子どもたちが新学期に入っ くの幼稚園で甚大な被害を受けたこ 早い回復を図ります。 況が続き、保護者の皆様は、様々な ても幼稚園に通うことができない状 優先で取り組み、県民生活の一日も 県内の私立幼稚園については、多

えております。 あっては復興の象徴になるものと考 や笑い声は何よりも社会にとって元 限りであります。子どもたちの笑顔 よって、多くの幼稚園が再開される 気の源になるとともに、 ようになったことは非常に喜ばしい え、幼稚園関係者の皆様の熱意に そのような厳しい状況を乗り越 被災地に

様が安心して幼稚園に通うことがで 今後も、子どもたちや保護者の皆

方々の生活支援と被災地の復興に最 りもまず、雇用の確保など被災者の

> 状況に応じた保育料の減免など実施 ラー派遣や被災された御家庭の経済 実施するためのスクールカウンセ 哀しみや不安を抱えた園児や保護者 きるように、 幼稚園関係者の心のケアを 今回の大地震で様々な

し、支援してまいります。

今後とも、 害からの復興モデルの構築などを基 まちづくりや、被災地の復旧にとど が復興の主体として、県民が一丸と 展へ~」を策定し、県民一人ひとり 北・日本の絆・再生からさらなる発 う、復興に全力で取り組みますので、 満ちた新しい社会を引き継げるよ 発展させたいと考えております。 を、あの3月11日以前よりも大きく 本理念に掲げ、 まらない抜本的な再構築、 ます。災害に強く安心して暮らせる なって復興活動に取り組んでまいり 県は、今後10年の復興の道筋を示 次代を担う子どもたちに、希望に 「宮城県震災復興計画〜宮城・東 皆様の御協力や御支援を 10年後には、 壊滅的被 宮城県

明

よろしくお願い申し上げます。

幼児教育課長就任にあたって

幼児教育の充実・発展のために

文部科学省初等中等教育局幼児教育課長 蝦名

喜之

ことに敬意を表しますとともに、 めに、また、今般の東日本大震災 が国の幼児教育の充実・発展のた また、団体での活動を通じて、我 様方が、幼稚園の現場におい い手である私立幼稚園関係者の皆 深く感謝いたします。 めにご尽力をいただいております による被災地の復興への支援のた しました。幼児教育の中核的な担 7月に幼児教育課長に就任いた

なりました。 いての規定内容が充実したものと 校教育法の改正により幼稚園につ れるとともに、これに引き続く学 おいて幼児教育の重要性が明記さ た。この間、教育基本法の改正に わるのは実に5年ぶりとなりまし 私事ながら、初等中等教育に携

状況や各幼稚園の状況等を踏まえた ると考えます。そのためには、 た期待に応えていくことが大切であ の質を高め、国民の幼児教育に向け 地に足のついた取り組みにより教育 ていくことが重要であり、子どもの がその存在感をこれまで以上に高め 本法の改正等を踏まえれば、 しつつありますが、こうした教育基 幼稚園 幼稚

集団の中でさまざまな体験をできる たしていくことが重要です。 会の教育力の向上のために役割を果 ようにするとともに、家庭や地域社 会の教育力の低下を補い、子どもが また、牽引役として、家庭や地域社 園が、地域の幼児教育の拠点として、

後の教育の基礎を培うものとして

くことが重要です。学校評価は各幼

げます。

幼児教育を巡る状況は大きく変化 を支援するための、ともどもの取り 理解の上に、子どもの健やかな育ち をはじめとする他の学校種との相互 う学校である幼稚園として、小学校 校との連携を一層強化し子どもの発 十全な役割を果たすためには、 組みが一層期待されます。 重要です。子どもが一番最初に出会 達と学びの連続性を確保することが 小学

また、幼稚園が、義務教育及びそ 稚園の教育に対する理解を深めてい 供し、家庭、 とする関係の方々に分かりやすく提 検証し、その情報を保護者をはじめ うな効果を及ぼしているかを不断に じめとする他の学校種の関係者の幼 の取り組みが子どもの育ちにどのよ 効果的に進めていくためにも、 こうした幼稚園の取り組みを一層 地域社会や小学校をは 日々

更なる取り組みの深化につながる ざまな主体が幼稚園における取 らず、子どもの育ちに関わるさま 組みを深く理解することによる、 稚園自らの取り組みの改善のみな

ご尽力賜りますようお願い申し上 視点が大切であると考えています。 児教育のますますの充実・発展に におかれましては、 す。私立幼稚園の関係者の皆様方 振興に一層取り組んでまいりま どのように確保していくかという 育・保育を新たなシステムの中で いての検討に際しても、国民の期 待に応えられる質の高い学校教 子ども・子育て新システムに 文部科学省としても幼児教育の 引き続き、

ものと考えます。

私立幼稚園に空前の被害し

| 東日本大震災⑦

佐藤福島県知事に義捐金を贈呈

佐藤雄平福島県知事は、頂戴した

開設――私学事業団私学支援ポータルサイトを

めて大規模で複合的なものでした。大で被災地域が広範にわたるなど極大回の東日本大震災は、被害が甚

くしまこども寄附金」へ寄附されま

団では、被災した私立幼稚園等の り組む必要性があります。私学事業 り組む必要性があります。私学事業 は、複数年にわたる復旧・復興に取 は、複数年にわたる復旧・復興に取 は、複数年にわたる復旧・復興に取 は、複数年にわたる復旧・復興に取 は、複数年にわたる復旧・復興に取 は、複数年にわたる復旧・復興に取

関係企業の皆様等に謹んでご報告申しあげるとともに、心より御礼申しあげます。 申しあげます。 なお、「東日本大震災にかかる 義捐金へのご協力のお礼(中間の ご報告)」を本号に同封させてい にだきましたのでご高覧のほどよ

ト」を設置しました。
業、個人及び私立学校等の要請に応業、個人及び私立学校等の要請に応

関福全私幼理事長

▼ポータルサイトの目的/企業、私 立学校、同窓生、保護者、在学生等 からの寄付金を被災地の私立幼稚園 等へ支援できる環境を構築するため の情報を収集し、必要な情報をポー タルサイトにて広く提供します。

タルサイトにて広く提供します。
 ▼内容/寄付者と被災私立幼稚園等との間での寄付金の授受は、両者のとの間での寄付者と被災私立幼稚園な範囲で、寄付者と被災私立幼稚園な範囲で、寄付者と被災私立幼稚園等との間で寄付が授受できるように情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報提供、条件の提示や税制上の取情報と表する。

電話:03-3230-7317 ▼問合せ先/日本私立学校振興・共

http://www.shigaku.go.jp/g_shien.htm

――中間のご報告

東日本大震災にかかる義捐金へのご協力のお礼

全国の保護者の皆様、

私立幼稚

等より大変多くのお心のこもったご表捐金につきましては、全国の保護表捐金につきましては、全国の保護表別金にのもが、私立幼稚園の設置者・園工会のとびの東日本大震災にかかるが、

厚志を頂戴いたしました。誠にあり

中しあげます。 中しあげますことを心よりお祈り 中しあげますことを心よりお祈り 中のになりますことを心よりお祈り 一助になりますことを心よりお祈り

私幼時報/2011.10

幼稚園就園奨励費 大幅な回復で第4階層単価5.000円増を要求

私立高等学校等経常費助成費補助(幼稚園分) 31 億 8.300 万円増 (前年比 10.0%増) 351 億 6,600 万円 園児1人あたり単価は、22.784円(前年比0.7%増)

>)私立高等学校等経常費助成費補助 私立高等学校等経常費助成費等補

月遅

い概算要求となりました。

幼稚

震災への対応等により例年より1カ

容を公表しました。

今回は東日本大

提出する平成24年度の概算要求の内

9

月30日、

文部科学省は財務省

園関係予算の主な内容は次のとおり

9 1002億3000万円から40 高等学校等の総額で前年度の予算額 |%アップ||1042億7900万 00万円増えて は、私立幼稚園、 小学校、 (対前年度比 、中学校、 4

32億3500万円増 000万円の要求。 年度比0・7%アップ) 893億3 分は6億5600万円増えて 円となりました。そのうち一般補助 特別補助分は、 (対前年度比 (対前

アッ

4

O 万 円 増

預

かり保育推進事業」

〔経常費助成費補助・幼稚園分〕

万円となりました。

となりました。 福要求 幼稚園 私立高等学校等経常費助成費補助 で、 一分は、 総額351億6600 (対前年度比10 6億6300万円増 幼稚園分のうち 31億8300万円の 0%アッ 一般 万円 対

36・2%アップ)の121億600 円増 支援教育経費」は、2億8400 円となりました。 16 1 33億2700万円が要求されました。 ・7%アップ) 億9200万円増 (対前年比9・3%アップ)の また、「幼稚園特別 の13億4200万 万

)幼稚園就園奨励費補助 園

で

助単 比 6 · 0 12億9300万円増えて 幼稚 万円 伷 は が計上されました。 1%アップ) 就園奨励費補助は、 第4階層が5000円の 224億780 (対前年度 私立の補 総額

プ 65円増 児一人あたり単価は、 億100万円が計上されました。 前年度比2・7%アップ) 幼稚園分のうち特別補助分は、 の22784円となりました。 (対前年度比0・7%アッ 前年度から の 2 5 1 袁 25 1

プ 0万円増 育て支援推進経費」は、 計上されました。特別補助のうち「子 アップ) の100億6500万円が 億2千万円増 の67億3800万円で、 (対前年度比49・7%アッ (対前年度比33・4% 22億360

稚園の子育て支援活動の推進」 プ)の53億9600万円。 (対前年度比61・0% (対前年度比 は、 その内 20 億 4 は、 幼 ださい は、 未満 倒 万円が計上されました。 を踏まえ耐震化、 H 壊等の危険性が高い

謹んでお礼申しあげます。 では香川敬会長を先頭に強力な要望 震災への対応を含めて、 う極めて厳しい状況の中、 会議員の皆様や関係者の皆様方には (動を図ってまいりました。 全省庁で裁量的経費10%削減とい 全日私幼連 東日本大

姉が小1~3の場合の第二子を0 降 についても3200円 の単価については5ページをご覧 求されました。 75から0・7へ引き下げることが要 の増額要求となりました。 :の保護者負担割合については、 額要求で、 第1階層から第3階 それぞれの階層区 \(\quad 4 \\ 4 \\ 0 \) 第二子 0

●私立幼稚園施設整備費補助

とすることが要求されました。 20億2500万円増の約28億300 る経費の大幅な増額要求となり、 本大震災からの復興の基本方針」 私立幼稚園施設整備費補助は 引き続き補助率を2分の1以 施設の耐震補強工事につい エコ改修等に資す (Is値O・3 地震による 約 内 東 7

— 4 **—**

平成24年度幼児教育関係概算要求額の概要

				1			(単位:百万円
区	分			比較増△減	備		考
幼児教育	関係予算総額	21, 261	22, 553	1, 293			
. 幼稚園회	忧園奨励費補助	21, 185	22, 478	1, 293		※23年度	→24年度要求
) 補助単価の引き ・保護者負担の軽		るため、補	前助単価を	引き上げる。		
	(階層区分) 公立】生活保護世	#: 士町+	+足殺北部	144 ##:	(23予算) (2	4要求)(対前年月	隻比)
	市町村民税 (年収270万	所得割非調		777. 巴市、	20,000円 → 21	,000円 (1,000円	円増)
	弘立】 I 生活保護世帯 I 市町村民税非	調			223, 200円 → 226 193, 200円 → 196		
	(市町村民税所得	割非課税†				, , , , ,	
	(年収360万円以下	₹)			46,800円 → 51		
* * *	(年収680万円以下金額は、第1子の金額は、第1子の年収は夫婦と子と市町村民税所得害保育料等の全国平階層区分について	○補助単価 ごも2人の 可課税額は ご均は年額	場合を参 平成23 で公立79,	考までに掲 年度の基準 000円、私	げている。 を掲げている。	る。	
	(2) 第2子の保護者負担割合の引き下げ ・第2子の保護者負担割合を引き下げる。						
()兄・姉が幼稚園	児の場合		第2子	(23予算) 0.5 - 以降 0.0 -	→ 0.5 (半額	
	○兄・姉が小 1 ~	3の場合		第2子		→ 0.0 (無債 → 0.7 → 0.0 (無償	,
,	※第1子の保護者	負担割合る	는[1.0]と	した場合の	第2子以降の保護者負		<u> </u>
幼稚園 改善充実	数育内容・方法の 実	23	23	0	• 幼稚園教育理解推進	事業 23百	百万円→23百万円
	からの「人間力」 合推進プラン	53	53	0	・幼児教育の改善・充 ・幼稚園・保育所等の		百万円→36百万円 百万円→17百万円

【参考】 1. 私立幼稚園施設整備費補 助	778	2, 803	2, 025	※公立幼稚園施設整備費については、167,237百万円の内数
2. 私立高等学校等経常費助 成費補助(幼稚園分)	31, 983	35, 166	3, 183	
(ア) 一般補助	24, 438	25, 101	663	
(イ) 特別補助	7, 545	10, 065	2, 520	1. 子育て支援推進経費 4,502百万円→6,738百万円 ・預かり保育推進事業 3,352百万円→5,396百万円 ・幼稚園の子育て支援活動の推進
				1,150百万円→1,342百万円 2.幼稚園特別支援教育経費 3,043百万円→3,327百万円

注)百万円未満四捨五入のため差額や合計が一致しない場合がある。

※なお、認定こども園の施設整備などを行う「安心こども基金」については期限延長等について検討する。

)9・26幼保一体化対策本部会議 (団体長会

化

一体化への対応を協議

9

月

26日、

東京・私学会館におい

きました。また、会議に先立ち、 た蝦名喜之氏からごあいさついただ が出席しました。 て全日私幼連・幼保一体化対策本部 (団体長会) (OECDパリ本部・教育 幼児教育課長に就任され 香川敬会長のあい が開催され、 H

局教育訓練政策課シニアアナリス

施設 審議が必要不可欠▼価値観の多様 法等の教育関係法制度の改正に関し の役割分担を前提とすべき▼「総合 規定されている学校教育と家庭教育 ては中央教育審議会における十分な 〔要検討重要論点〕▼教育基本法に (仮称)」 導入に伴う学校教育

西谷正文氏 ました。議長は水谷豊三氏 化 氏 には相田芳久氏 ト結果をもとに、諸外国の幼保一体 ト)から、OECD19カ国のアンケー 1の現状等についてご説明いただき (岐阜)が選任されました。 (島根)、議事録署名人 (静岡)、 石井亮一 (大阪)、

システム」について/入谷幸二政策 要検討重要論点について資料をもと があり、 委員長から、これまでの経緯説明等 に関する中間とりまとめについて、 に説明がありました。 |協議案件1:「子ども・子育て新 子ども・子育て新システム

\$ が確認されました。 日私幼連としての対応方針の方向性 化が図られるシステムを構築すべき など、 稚園」の名称は、今後も存続させる ない私立幼稚園に対しては、 認めるべき▼「こども園」を選択し 学助成等の機関補助や上乗せ補助も 「こども園給付 現場が混乱しない仕組みにすべき 村と都道府県の役割分担につい のメンバーに幼稚園関係者を入れる べき▼地方版「子ども・子育て会議 も私学振興助成法に基づく私学助成 都道府県や市区町村の裁量による私 在できる仕組みが必要▼「総合施設 まとめられるべきではなく、 校教育施設が強制的に一つの類型に いては、 ニーズに対応できる多様な施設が存 (機関補助)を存続させるべき▼「幼 (仮称)」や指定制度における市区町 その後、 現場の意見を十二分に踏まえ、 幼稚園と市区町村との連携強 小学校入学前の幼児期の学 意見交換が行なわれ、 (仮称) と併せて、 今後と 多様な 全

地域社会の多様化等の状況に

,総務委員長・中浦正音

ISBN978-4-577-81302-7

理事長・園長・副園長・主任…保育現場をマネジメントするすべての保育者のために

11月号の主な内容

B5判 80 ページ

定価 950 円 (税込)

国の動きを読む!研究者の目

「パート職員、非常勤職員と共に」

▶匠に学ぶ 「坂本フジス(助産師)」 ほか

ご注文・定期購読のお申し込みは下記まで 03-5395-6608 営業総括部

本社:〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 http://www.froebel-kan.co.jp キンダーブックの フレーベル 館

常任理事が選任されました。

東日本大震災への対応など報告

林弘明氏から着任のご挨拶がありま 全日私幼連専務理事に就任された小 長のあいさつの後、 市ヶ谷において常任理事会が開催さ 27人が出席しました。 7月1日 香川敬会 付けで

9

月 8

Ħ

東京・グランド

ヒ ル

科学省初等中等教育局幼児教育課長 をいただきました。 に就任された蝦名喜之氏からご挨拶 続いて、 7月29日付けで文部

名人には橋本幸雄常任理事、 議長に村山十五副会長、 議事録署 石嶋昇

状況、 いて、 応の件 続いて災害費 義捐金の配分状況、 (災害見舞金)

がありました。 委員長から資料をもとに説明 満研究研修委員長、 芝木捷子監事から ||
断全日私幼研究機構の報告 本常任理事会は閉会となりまし 坂本洋調査広報 監事 所 見 報告 が 東 あ 重

意見交換を行ないました。 状の報告と今後の在り方につい

▼講演

7 現

玉

[から参加された先生方から、

おける今後の在り方につい 会長▼意見交換=「一○二条園に 泰雅·全日本私立幼稚園連合会副

7

全

明がありました。 幸二政策委員長から資料をもとに説 3次配分について説明がありました。 園関係政府予算対策について/入谷 状況、活動状況について報告があり、 |報告案件2:平成24年度私立幼稚 |報告案件1:東日本大震災への 中浦正音総務委員長から被害 /東日本大震災への対応につ 義捐金第 の執行

もとに説明・ 長 システム」について/ 説明・ われました。 の件/各委員長等から資料をもとに ■報告案件3:全日私幼連会務運 協議 入谷幸二政策委員長から資料を [案件1:「子ども・子育て 報告がありました。 提案があり協議が行 北條泰雅副 会 新 営

され、75人の先生方が出席しました。

幼保一体化について」

講師:北條

23年度・一

〇二条園研究会議が開催 東京・私学会館で平成

講演Ⅰ=

「一〇二条園からみる

一な内容は次の通りです。

9

月 22 日、

二条園研究会議開

か

れる

9月22日

東京

,総務委員長・中浦正音

会副会長

尾上正史・全日本私立幼稚園連合

た。 ŋ

袁 \prod

II

「幼保一体化に伴う一

〇二条

[の今後の在り方について]講師

ネットワーク対応を強化!

会計・減価償却・給与・小口現金のシステム間の 経営分析資料の提供を実現しました。

インターネットが使える環境なら、どこでも、チャッピー をご使用頂けます。会計システムやデータが入っていない -からでも、伝票入力や帳票印刷等を行えます ※事前設定およびシステム利用料が必要です

会計基準、減価償却、給与計算の各シス テムで、経営に関わる参考資料が印刷 出来るようになりました!

2011年2月リリース予定

新 !! 開発・販売

発売元

株式チャイルド社

株式会社チャイルド本社

ニュースのひろば

文科相に中川正春衆院議員

任されました。 科学大臣に中川正春衆議院議員が就 9月2日、野田内閣が発足し文部

文部科学副大臣には、 奥村展三衆

た。

学大臣政務官には、城井崇衆院議員、 院議員、森裕子参院議員が、文部科 神本美恵子参院議員が就任されまし

全私学連合

中川正春文部科学大臣へ要望

した。 制改正要望、予算要望を行ないま 政務官と面談し、平成24年度の税 大臣、神本大臣政務官、 学省を訪問。中川文科大臣、 清家篤慶應義塾塾長)は、 9月21日、全私学連合 城井大臣 文部科 (代表:

とを強く要望しました。 害を受けた私立幼稚園に対する特 段の支援を引き続きお願いするこ 出席し、 全日私幼連からは香川敬会長が 東日本大震災で大きな被

文部科学省人事異動 小松親次郎氏が私学部長に

調査官に就任され、後任には、 幹孝私学共済室長が大臣官房人事課 られた小松親次郎氏(大臣官房審議 後任には、かつて幼稚園課長を務め 関係では、河村潤子私学部長が大臣 部長)が就任されました。 英樹氏(国立大学法人静岡大学総務 官)が就任されました。また、戸松 官房文教施設企画部長に就任され、 を発令しました。 9月1日、 文部科学省は人事異動 高等教育局私学部 渡部

> 備支援 発電その他防災機能強化のための整

の基金 付金/被災地に所在する私立学校に 対する環境整備等:平成23~26年度 ▼被災私立学校等復興特別補助 ・交

平成26年度までの延長にかかる所要 額を計上 施設整備費等) における既存制度の拡充(入学料 交付金/私立学校授業料等減免事業 被災児童生徒就学支援等臨時特例 についても対象化し

政府・ 第三次補正予算案概要

明しました。 23年度第三次補正予算案の概要が判 東日本大震災にかかる政府の平成

私立幼稚園関係の主な項目は次の

等:非構造部材の耐震対策、 通りです。 ▼私立学校等施設の耐震化促進事業 /私立学校等施設の耐震補強工事 太陽光

11月は児童虐待防止 推進月間です

啓発活動、 実施しています。 電話相談などの相談援助活動などを け、児童虐待問題に対する社会的関 ペーンの推進、シンポジウムの開催 心の喚起を図るため、集中的な広報・ 童虐待防止法が施行された11月を 「児童虐待防止推進月間」と位置づ 厚生労働省は、 オレンジリボン・キャン 平成16年度から児

文部科学省だより

平成 24 年度幼児教育関係概算要求の概要

■はじめに

平成24年度概算要求のうち、幼児教育関係の概要については次のとおりです。

1. 幼稚園就園奨励費補助

(24年度要求額 224億7800万円 対前年度 12億9300万円増)

保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減等を図ることを目的として、保育料等を軽減する 「就園奨励事業」を実施している地方公共団体に対して、所要経費の一部を補助することとして おり、24 年度においては、保護者負担の軽減等を図るため、補助単価を引き上げるとともに、第 二子の保護者負担割合を引き下げる。

(1)補助単価の引き上げ

(階層区分)

(23 年度) → (24 年度要求) (対前年度増減)

【私立】

- 223, 200 円 → 226, 400 円 (3, 200 円増) I 生活保護世帯
- Ⅱ 市町村民税非課税世帯(市町村民税所得割非課税世帯含む)(年収270万円以下)

193, 200 円 → 196, 700 円 (3, 500 円増)

Ⅲ 市町村民税所得割課税額(34.500円以下)世帯(年収360万円以下)

109, 200 円 → 113, 600 円 (4, 400 円増)

IV 市町村民税所得割課税額(183,000円以下)世帯(年収680万円以下)

46,800 円 → 51,800 円 (5,000 円増)

- ※ 金額は第一子の補助単価(年額)を掲げている。年収は夫婦と子ども二人の場合を参考まで に掲げている。市町村民税所得割課税額は23年度の基準を掲げている。
- ※ 私立幼稚園の保育料等の全国平均は、年額で305,000円となっている。
- ※ 階層区分については、年少扶養控除の見直しに伴う変更を予定している。
- (2) 第二子の保護者負担割合の引き下げ

《兄・姉が幼稚園児》第二子 [0.5](半額)

第三子以降 「0.0](無償)

《兄・姉が小 $1 \sim 3$ 》第二子 [0.75] \rightarrow [0.70]

第三子以降 [0.0](無償)

- ※ 第一子の保護者負担割合を「1.0]とした場合の第二子以降の保護者負担割合
- 2. 私立幼稚園施設整備費補助

(24年度要求額 28億300万円 対前年度 20億2500万円増)

「東日本大震災からの復興の基本方針」をふまえ、緊急の課題となっている耐震化に取り組む とともに、学校法人立幼稚園等の施設の新増改築やエコ改修等に要する経費の一部を補助する。

なお、国庫補助率は、原則として3分の1以内であるが、地震による倒壊等の危険性が高い(Is 値0.3未満)施設の耐震補強工事については、引き続き2分の1以内に嵩上げする。

3. 幼稚園・保育所等の経営実態調査

(24年度要求額 1700万円 対前年度 同額)

幼保一体化に向けて、幼稚園等の収支や財務状況などの経営実態について調査・分析を行う。

4. 幼児教育の改善・充実調査研究

(24年度要求額 3600万円 対前年度 同額)

幼保一体化に関する基準の検討など幼児教育に関する様々な課題について調査研究を行い、幼児教育の改善・充実を図る。

5. 幼稚園教育理解推進事業

(24年度要求額 2300万円 対前年度 同額)

幼稚園教育の一層の理解推進を図るため、幼稚園の教育課程の編成及び指導上の諸課題や幼稚園を取り巻く諸課題に関して中央及び都道府県において研究協議会を行う。

6. 私立高等学校等経常費助成費補助(幼稚園分)

(24年度要求額 351億6600万円 対前年度 31億8300万円増)

子育て支援や特色ある取組みを行う私立学校に助成を行う都道府県に対して、国がその助成額の一部を補助する。

- (1) 一般補助 251億100万円(対前年度 6億6300万円増)園児一人当たりの単価 22,784円(対前年度165円増)
- (2) 特別補助 100億6500万円(対前年度 25億2千万円増)
- ① 子育て支援推進経費 67億3800万円(22億3600万円増)

近年、共働き世帯・ひとり親世帯の増加等による保育サービスの需要が増加し、それに伴い 待機児童が増加していることから、私立幼稚園における預かり保育推進事業等の子育て支援の 一層の充実を図る。

・預かり保育推進事業

53 億 9600 万円

・幼稚園の子育て支援活動の推進

13 億 4200 万円



財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構·監修

研修ハンドブック

(内容)

●「保育者としての資質向上研修俯瞰図」(全日本私立幼稚園幼児教育研究機構:作成) のカテゴリー別研修記録

●研修履歴一覧表 など

答料

- ●改訂 幼稚園教育要領●改訂 保育所保育指針
- ●保育者としての資質向上研修 俯瞰図 など

どのような研修に 参加したかを記録し、 教員としての 資質向上を サポートします。

> B6判 112ページ 定価**700**円(税込)

お申し込みは㈱世界文化社および世界文化社(ワンダー)販売会社まで

〒102-8187 東京都千代田区九段北4-2-29 TEL:03(3262)5128(営業部)

② 幼稚園特別支援教育経費 33億2700万円(2億8400万円増)

※ なお、認定こども園の施設整備などを行う「安心こども基金」については期限延長等について検討する。

【参考】平成23年度第三次補正予算案(幼児教育関係)について

- 1. 学校施設等の復旧等
 - ◇使い勝手のよい交付金の活用

(私立幼稚園への貸与スペースの確保など)

◇被災私立学校等復興特別補助·交付金(仮称)

80億円程度

被災した私立学校等の教育環境整備に向けた取組への支援

※高等学校~幼稚園等については、高校生修学支援基金を活用(4カ年)

- 2. 学校施設の防災対策
 - ◇私立学校等耐震化(23年度当初52億円)

150億円程度

- ・施設の耐震化
- 3. 被災幼稚園の幼保一体化施設(認定こども園)としての再開支援

10億円程度

被災地のニーズ等をふまえ、幼保一体化施設(認定こども園)としての機能を備えて再開できるよう新築、移転改築、増改築等(既存施設の解体費用を含む)に要する経費を支援(負担割合: ${\tt II}/2$ 、市町村 ${\tt II}/4$ 、設置者 ${\tt II}/4$)する。なお、本補正事業においては、これまでの補助要件を緩和(これまで対象とならなかった幼稚園型も対象とするなど)するとともに、市町村負担について、これまでの起債措置のほか、地方交付税措置が講じられるよう調整中である。

4. 被災児童生徒修学支援等臨時特例交付金の積み増し・延長等

290億円程度

- 基金の期間延長(3年)
- ・既存事業不足分の積み増し(幼稚園への就園支援等)
- ・既存事業の対象経費の拡大(私立学校授業料等減免事業(入学料、施設整備費等)など)



《第2回幼児教育実践学会・概要報告》

私立幼稚園の底力が顕れた第2回幼児教育実践学会

財全日私幼研究機構研究研修委員会協力委員 亀ヶ谷 忠宏

開催されました。 府大阪市・追手門学院小学校を会場 機構主催による幼児教育実践学会が に
財全日本私立幼稚園幼児教育研究 平成23年8月20日出、 21日田大阪 した。

児教育実践学会を行なうことができ ら開催地を大阪に変えて、 の実践学会への関係者の熱い思いか ぶまれながらも、歩み始めたばかり 大震災の影響から一時は開催が危 第2回幼

ポスター発表は、どこを取っても大 旨からも嬉しいことでした。 多く参加していただき実践学会の主 場で実践を積まれている先生方に数 200人も上回り、それも、 そして、2日間の講演や口頭発表 参加者も430人と前年を約 保育現

変充実した内容で熱気に満ちていま

踏まえながら行ないました。 1、この学会で行なう研究は、保育 例を用いて、現場にフィードバッ 現場での実践を踏まえ、発表は事 今年も、以下の3つの柱を大切に クできることを念頭に研究会では

2、生きた研修のメイキングの仕方 を学び、全ての園の園内研修が充 参加者同士が活発に意見交換を行

3、現場と共に歩む若手研究者を育 てる。 実することを目指す。

▲学会企画シンポジウム

▲基調講演

の生活が ある。 を見失いかけている幼児教育にとっ 保育実践課題について」という原点 か。それは、倉橋惣三の〝さながら 原点を問う必要があるのではない 育て環境の中で、今、我々は保育の きました。要点:大きく変化する子 真と合わせながらお話ししていただ 影の子どもたちの生き生きとした写 大豆生田啓友先生に、小西貴士氏撮 て最適なテーマで、玉川大学准教授 が保育の基盤となるべきで

##1人ではままの東京の日本の日本書 第2回 地元 教 万 宋 邦 伊 島 ・基調講演は、「倉橋惣三と現代の

大阪・追手門学院小学校

▼ポスター発表

修を行なうことの難しさや課題、 学准教授の那須信樹先生の学際的な お話しがありました。 デオカンファレンスの重要性につ 保育者の自信に繋がるような園内研 要性を感じながらも、 員長の黒田先生より、 お話しに続き、研究研修委員会副委 率直で会場の先生方が共感する 園内研修の重 人ひとりの

質量共に私立幼稚園の秘めた実力の えた発表があり、 高さを感じました。 口頭発表では、 今年も保育実践の 16件の実践を踏ま

0

員の安達譲先生、

追手門学院小学校

ていただいた研究研修委員会協力委

開催に当たって、

仲介の労を執っ

ポスター発表

ッショナルとしての力が問われて

保育」をポスターにまとめられ、多 会からは保育自体も正常化していな 高さが現れていました。 くの先生方が熱心に見入って関心の は実践者と研究者の交流も多く見ら い大変な中で、「放射能と子どもと 口頭発表 :あり、それぞれのポスター 園や研究者、 そして、 熱心な質疑が行なわれていまし (地区、 福島県全私立幼稚園協 県レベルの発表が の前で 19

研修について、中村学園大学短期大

学会企画シンポジウムでは、

袁

丙

出すことが大切である。

な人を巻き込み「にぎわい」を生み 践共同体の創出が必要で、さまざま いる。子どものことを語り合える実

件



▲口頭発表

お手伝いいただきました。 究部の先生方も猛暑の中、 方々に多大なご協力をいただきまし ただいた大阪府私立幼稚園連盟の研 多くの皆様のお力に心より感謝申 また、スタッフとしてお手伝い 津田克彦校長先生はじめ職員 心より感謝申し上げます。 爽やかに

内の大学で開催を予定しています。 平成24年8月23日休・24金に東京都 (神奈川県川崎市・宮前幼稚園

し上げます。

第3回幼児教育実践学会は

ひろみすお兄さんの

からだがつくられる幼児期には、全身の運動能力を バランスよく身につけることが大事。

筋力・瞬発力・柔軟性・平衡性など、身につけたい 運動能力ごとにあそびを紹介していきます。 補助のしかたや安全のポイントなど、役立つアドバ イスもいっぱいの、からだあそびの決定版!

新刊 じわじわ どっか~ん! 体力アップ 楽しく バランス! 調整力アッ 親子体操 定価 1.890円(税込) 26×21cm/96ページ 発行・発売 **チャイルド本社**



私幼時報/2011.10

え、 は、 頃は、どの年齢の幼児もそれぞれの 年長クラスの活動への確かな手応 ある研究会で報告された事例もそう 流儀で園生活に慣れ、特に年長児に る い保育者ですが、作成資料からは、 した成長をうかがわせるものでし なものさえ感じることがあります。 開 入園や進級から半年を過ぎた十月 反面、その後の全く予期しない 事例発表者は経験二年ほどの若 落着きと自信による風格のよう 興味深いものでした。 への戸惑いと不安も感じられ

体的なイメージを浮かべることがで きます。私は直接見てはいません きました。こういう集団的活動場面 が、よくまとめられた資料から、具 た街づくりを具体的に発展させてい 分なりのアイディアで家を作り、 う活動です。先ずは自分の材料を自 段落すると、先生が大まかに提案し 紙箱で、最終的には街を作ろうとい テーマは「街作り」。持ちよった

> では、 乗的な効果を生み、それぞれが自分 ŋ がっていきます。また共通テーマの 然にリーダーとなり、一段と盛り上 合でも同じです。 う快さも生じやすくなります。こう なりに精いっぱい力を発揮したとい ある集団的な活動では、競うことよ した活動過程や手応えは、大人の場 他者の発想からの刺激などが相 アイディア豊かな子どもが自

ます。 まり、 もたちも明日の活動を約束して帰り 街ごっこ」をしようと提案。 さて「街作り」活動は見事にまと 先生は、明日はこれを使って 子ど

男児が街に飛び込むやいなや、 と声を出します。その途端、 は、思い切って「壊してしまおうか」 もう冷めてしまったと覚悟した先生 まざまに誘いかけても、 彼らはさっぱり乗って来ません。さ こ」を呼び掛けるのですが、 そして翌朝、先生は約束の「街ごっ 彼らの熱は なぜか 全員

> 表でした 茶苦茶になってしまった、という発 がわあっと街になだれ込み踏みつぶ し、ゴジラに襲われた街のように滅

あえて二日目までの経緯を発表した が伝わります。発表はこれだけにし り、作成したスライドからも手応え こで終えるべきか迷ったそうです。 大きな狙いでもあったのでしょう。 れを使った「街ごっこ」への発展が てもよいと思いながらも、本当はそ 前日の活動だけでも充分に内容があ この事例を発表した保育者は、 اسل

実際には見ていない保育実践につい で交わされたかという報告を、そこ のベテラン保育者が指導者として参 ことに、この保育者の誠実な姿勢を てとても興味を覚え、 に参加した同僚から聴き、私たちも 加していました。どんな議論がここ 論議を呼びます。研究会には何人も 感じます。しかしそれは、もちろん 論じ合いまし

そうでしょうか?

研究会では大まかに二つの意見が

利用したらいいとすぐ考えますが、 でした。大人は折角作ったのだから 壊したのかという疑問を発しません 残念ながら誰も気付いていません。 ないというまとめです。もう一つは、 内容は、保育者の事前の動機づけ 破壊は結局保育の失敗と単純に評価 ようです。しかしここに最も大切な 表した姿勢を良しとする評価だった 壊された二日目まで隠さず敢えて発 ばよかった、二日目は評価対象とし どが評価され、ここまでを発表すれ し合いへの少し距離を置いた参加な 展開への言葉掛け、子どもたちの話 あったようです。先ず、前日の実践 し、彼らはなぜ何のためらいもなく 議論や考え方が隠れていることを、

もう魅力を失ったカスに過ぎませ 感できたのでしょう。 意味の一文があります。苦心の街は 後の結末はカスに過ぎない」という 語の生命はその過程にこそあり、最 に」(岩波新書)の中に、「優れた物 ん。みんなゴジラになって初めて、 「街」という一つの物語の創造を実 大江健三郎の「新しい文学のため (つづく)

十月の物語~創造と破壊~



た。

侑 間藤 新潟大学名誉教授

私立 |幼稚| 園におけるこれ から 0 人材確 保

3年目を迎えた就職説明会

の応募は年を追って減

少

0)

傾向

正

千葉県メモ 面積:5,156.60km² 風視:5,150.00ki 県の花:なのはな 県民鳥:ホオジロ 県の魚:タイ 県の木:マキ

30

日

島根

0

知し、 して、 きました。 やすことを目的の 葉県の私立幼稚園を紹介する会」と で3年目となります。 を対象に就職説明会を開催して今年 幼稚園 私立幼稚園の仕事の魅力を周 幼稚園教諭を目指す学生 [教諭を目指す学生を増 つとして進めて この会は 中 保育所に比べて高いとされるが、 規 求人活動により学生を獲得する、 般 てきている、 職員を希望する学生が増加する あります。企業立の幼稚園が早期 生

非正規職員を求人する園が増え

給与の平均値は民間の

明会にも参加いただくという双方を 解に努めるなど、 年は説明会当日に養成校の就職担当 諭の育ちを見つめてきましたが、 養成校と幼稚園の情報交換、 たり「養成校との懇談会」を開催し 方と懇談を持ち、 それまで、 せた形での開催としました。 学生から社会人へ、 本連合会では多年にわ 現場での育ちを大 その後、 幼稚園教 就職説 相互理 そ 4

> 状、 題 から保育所を希望する等、 る意欲ある学生がピアノの苦手意識 の二極化、 が見えてきます。 企業に比べてやや低いという現 職業意識の高い学生と低い学生 幼稚園 の就職を希望す 多くの課

> > 題は

現場においては私立幼稚園の質の更 7 なる向上に努め 0) おります。 魅力が学生に伝わる会を企画 今後も課題の検討を重 てまいりたいと考え ね 幼 稚園

松澤弥生 員長、船橋市・ (全千葉県私立幼稚園連合会広報委 富士見第二幼稚園

となりました。

私立幼稚園の求人に対

職説明会は学生の活気に満ちたも

して開会式、

続くブース展開での

就

~31日にかけて、 源光寺の本堂で開かれまし 23年度教育研修会は、 日頃子ども達と歌って 「21世紀にふさわし の演奏がありま ミニコンサー 春木敏先生で、 出雲市の光 *^*ディベル リズム遊 続いて声 加藤事 ・ブル に 7 演 1 子にいきつく広くて深いものを感じ から、 日 ました。 る事は生きる事べ は生命を頂く感謝のこころを学びま える私学としての理念から、 導・講評は、 テーマ た。食育を求めていくと、、食べ

びで体をほぐしてから基調講演。 指導があり、 楽家大岩篤郎・誓子夫妻による歌唱 相応しいスタートでした。 務局長で、 があって、 生活を創る~保育と食育を考える」 食育プログラムの実践から」と題 いる歌の由来のお話から、 の音に、 した。コントラバス奏者は、 ティメント第1番 によるモーツアルト作曲 でした。 大阪市大教授、 研 園 「日々の食卓を結ぶ食育~幼児 「食を楽しむ5つの力に」つ 究主題 まさに保育を考える! 開会式後、 山陰フィルアンサンブル 本堂に響くアンサン 島 町

から、 いてのお話等、 食育基本法・幼稚園教育要領の改訂 具体的な事例をふま

う中に大きな学びがありました。 発表があって、 学院幼稚園が担当させて頂きました。 えての きる力を生かされている力として捉 治山短大の井原忠郷先生による、 かされてフワフワ心隠岐っ子」で、 本海の孤島隠岐の島で唯 「たのしく食べる子ども」とは? 食育の取り組み、 講義でした。次に研究発表は、 「保育と食育~島のめぐみに 前年からの続きで、 各園の事例を話し合 実践事例 の文化 比

県私立幼稚園連合会、 感動を覚えた研修会でした。 立幼稚園だからこその取り組みに、 文化学院幼稚園 全員参加が可能な島根県私 隠岐郡隠岐の 中川 悪子 (島根

保育と食育について考える

島根県からのおたより



まとめ

から、

保育の根

|集委員・二宮 朗

じら 災以 ことに対しても 子どもたちの 発案により導入したと言わ 師として来日 えてくる運動会を発案した人に、 にましても数 ポ に感じら の保 当時は、 たちも 方げられたことだと思い れること 8 動 それを受け入れた人に対 1 て感じ 動会は n 会を行なわ ッ ませ 当 育の 思 0 元たり 職 な ń V 秋 ます 成長、 して 員も が 0 0 ò み る 積 々 ん。 が 発案がなけ ·記録も残され 0 朋 前 7 h 0 2 わ いたイ つではな 感動的 重ねを発揮 なお祭り 今 感 13 治3年に n うになりました。 のことは (調 感激、 言 11 たの 段と成長 Ó 謝 日 T 肌寒く感じる てきます 査 61 頃 13 なド ます 広 Ć ギ あ 0 0 11 る 公報委員 わ 思 何 な L ń \hat{O} n 1] 英 で 東 気な 動を ば しょ ・ラマ よう。 よう 語 にお 廿 11 7 7 ス が を 人 13 0) 感 بل 渾 ま ま 秋 0

平成23年度(第9回) 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する 事項 | に関する免許状更新講習

講習の 開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定 番号
福岡市	「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」「学校の内外における連携協力について、幼稚園教諭に求められる知識を深め、より幼児理解や実践力を増すことを目指す。	特任教授) 船越 美穂(福岡教育大学 教授) 太田 光洋(和洋女子大学 教授)		平成 23 年 12 月 3 日~ 平成 23 年 12 月 4 日		平 23- 81340- 00745 号



新刊!

幼児期から児童期への教育

国立教育政策研究所 教育課程研究センター/編 A5判 定価 本体600円(税別)

幼稚園及び保育所と小学校との 連携を深めるために、国立教育・ 政策研究所が研究を進め、具体 的な実践事例を中心にわかりや すくまとめた指導資料集。



平成13年3月 文部科学省

幼稚園における 道徳性の 芽生えを培うための事例集

文部科学省/編 A5判 定価 本体130円(税別)

乳幼児期における道徳性の発達 について、配慮することの基本 的な考え方と指導計画作成の手 がかり、幼児の姿と教師の関わ りなどについて述べた書。



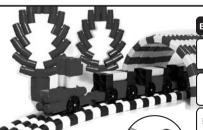
子どもが直接触れるものだから、 より優しくソフトになりました。

新登場 安全への配慮も万全です。

Bブロックソフト

HDF0215 セット ¥**40,950**税込 HDF0216 バラ ¥21,000 税i

※詳しくは弊社営業までお問い合わせ下さい。



この弾力性が

優しさのヒミツ!

Bブロックソフトの特長

割れにくくなり耐久性・ 安全性がさらにアップ

落としても大きな 音がしません。

軟らかくなったことによ り、曲線造形もつくれる ようになりました。

シャクエツ